

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	女38
----------	-----

年月日	2024 年 3 月 28 日 (木)
大会名	令和5年度 第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

公 式 記 録 用 紙

A	昭和学院高等学校										名古屋経済大学市邨高等学校						B
都道府県	三重県			市町村	津市			会場	サオリーナ メインAコート						回戦	準決勝	
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m追加 コラット	A	B			
7m得点/総数	A 1/1		チームタイムアウト			チームタイムアウト						B 0/1		7m得点/総数			
			1	2	後	3				1	2	後	3				
			2855	2334						2057	1954						

No.	昭和学院	G	W	2'	D	DR	No.	名経大市邨	G	W	2'	D	DR
1	関口 華恋						1	伊藤 愛菜花					
2	牧 琴音						2 c	伊藤 彩乃	6				
3	荒井 七香	4					3	加納 麻名					
4	杉山 日菜	6					4	園田 真由	2				
5	倉持 愛泉	3					5	高木 梨生	4				
6	永井 桜莉						6	柘植 京子	4		1		
7 c	加藤 真央	6					7	山口 友菜					
8	中村 真心	7					8	佐藤 花菜美					
9	齋藤 史歩	2					12	依田 涼風					
10	アシュール 莉麻	2		1			14	西原 愛果					
11	石井 華						15	近藤 華乃	2		1		
12	関川 暖絆						16	稲垣 恵利菜					
13	荒川 玲奈						17	勅使瓦 はな					
14	河野 紘依						18	山本 美空	3				
15	小川 未来						26	武藤 光里					
17	小林 玲舞						30	水野 由萌					
監督A	佐藤 奏吉						監督A	浅野 清隆					
役員B	浅井 大						役員B	平野 怜					
役員C	田代 佳克						役員C	水谷 彰延					
役員D	町澤 凜花						役員D						

A	チーム役員A署名										B
---	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

特記事項

レフェリー	邊 輝哲	工藤 和貴		
T D	長谷川 将規	大畑 俊輔		
MO	永春文義			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	女38	女子 [①]
----------	-----	-------------

令和5年度 第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月28日 (木)	会場	サオリーナ メインAコート		
種別	女子	回戦	準決勝		
Aチーム名			Bチーム名		
昭和学院高等学校			名古屋経済大学市邨高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
30	17	前半	11	21	
	13	後半	10		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評		記載者氏名	江森友哉		
<p>大会もいよいよ佳境を迎え、ベスト4が出揃った。準決勝第1試合は第44回選抜大会決勝のカードが実現。決勝進出を目指す両校の戦いは、前半立ち上がり早々に昭和学院がNo.7加藤のポストシュート、相手のミス逃さずNo.8中村が速攻を決め切り2連取。対する名経大市邨もNo.12GK依田の好セーブからNo.2伊藤がミドルシュートを決める。前半15分までは昭和学院が2~3点差のリードを維持する展開となったが、名経大市邨も足を止めないディフェンス、No.2伊藤を中心とした相手をかき回す多彩なオフェンスで食い下がる。前半20分を過ぎ、互いに得点が停滞する場面もあったが、終盤に昭和学院がNo.3荒井、No.4杉山のサイドシュートなど徐々にリードを広げ、前半を17対11の6点差で折り返した。</p> <p>後半の立ち上がりは昭和学院No.8中村がポストシュートで先制。名経大市邨も負けじとNo.5高木のポストシュートで応戦。No.12GK依田の連続好セーブもあり、完全に流れは渡さない展開となった。しかし、後半15分を過ぎ、昭和学院の持ち味である打たせて取るディフェンス、No.1関口の7mT好セーブなど一気に試合の流れを掴み始める。その後も昭和学院リードのまま試合は進み、最終的に30対21と勝利。優勝を奪取すべく、明日の決勝へ駒を進めた。点差こそ開いたものの、後半のスコアだけを見れば3点差の好ゲーム。諦めない果敢な試合をみせた名経大市邨にも拍手を送りたい。</p>					